

# 令和 4 年度 獨協埼玉中学校 自己評価シート

目指す学校像	豊かな感性、健康な心と体を育み、自ら考え判断できる生徒を育てる。
重点目標	1. 中学3年間で身につけるべき学習目標の達成に向けて教育内容の充実を図る。 2. SNSの利用に関して細かな指導を行い、同時に保護者への協力を依頼する。 3. 登下校時の安全とマナーの向上を図る。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (3月31日 現在 )	
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月31日 現在 )	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	観点 次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習、読書・新聞の時間、小テスト、補習など基礎学力の育成に向けて様々な取り組みをしているが、中学から高校への移行期の中だるみの傾向を改善する必要がある。</li> <li>日常の学習習慣の定着。(継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習の内容小テストの実施とその効果</li> <li>興味を持ち自ら目標設定ができているか</li> <li>検定試験の目標設定の明確化</li> <li>学習習慣定着のための試みがなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習、小テストの実施方法、内容の吟味と日常学習の定着を促す。</li> <li>ICTを活用した授業の取り組みを積極的に行う。</li> <li>希望者に対して、授業の枠を外して、興味関心を抱くような課題提供を行う。</li> <li>学年、教科ごとに検定試験の目標を明確にする。</li> <li>放課後の自習教室の設定。</li> <li>もう少し知りたいと思うような、モチベーションアップにつながる授業の展開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な内容と、小テストに対するフォローができたか。</li> <li>学習内容だけではなく、取り組み姿勢に対しても生徒と接点を持つことができたか。</li> <li>より積極的に何かに取り組もうとする気持ちを育てることができたか。</li> <li>検定試験の目標は明確になっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローが必要な生徒に課題を出し次のテストに向けて取り組ませた。</li> <li>面談を実施して、家庭学習の状況を知ることができた。</li> <li>学年集会で話をすると、一部の生徒ではあるが積極的に取り組む姿が見られた。</li> <li>検定試験の目標が明確になった生徒が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A テスト前に補習や質問会多く実施する。</li> <li>B 定期的に面談を実施し生徒の現状把握と学習面での目標を確認する。</li> <li>B 学期ごとに目標を立てさせ、学期末にどのぐらい達成したか振り返らせる。</li> <li>B 朝学習の時間を使用して、各自の目標に沿った検定問題に取り組ませる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話の使用法や SNS によるトラブルが後を絶たない。公共の場での使用方法に対する指導も継続して必要である。(継続)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話の使用実態の把握</li> <li>SNSの利用法に対する指導状況とその効果の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内での携帯電話に関するルールの徹底と指導。</li> <li>家庭での携帯電話の使用に関して保護者の協力を依頼。</li> <li>携帯電話教室を開催し、主に SNS の利用について講義を行い考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS によるトラブルは減少したか。</li> <li>校内・公共の場・家庭内における携帯電話使用のルールは守られているか。</li> <li>携帯電話教室による効果の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS によるトラブルは減少しなかった。</li> <li>おおむね携帯電話の使用ルールは守られていた。</li> <li>携帯電話教室を実施した後は効果が見られたが、残念ながら持続しなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C SNSによるトラブルを防ぐため、入学前のオリエンテーションから、協力を呼びかける。</li> <li>B 携帯マナー教室を保護者にも見てもらおう機会を設けたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の安全とマナーの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の安全とマナーの向上を図る。</li> <li>他者に配慮した行動がとれるよう、道徳心を育む。</li> <li>積極的に挨拶する習慣をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの乗車指導を継続する。</li> <li>試験期間中の通学路での下校指導を継続する。</li> <li>バスや電車内等、公共の場でのマナー向上に努める。</li> <li>教員自ら積極的に挨拶を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗車指導、学校周辺での登下校指導を継続したか。試験中の通学路での下校指導を継続したか。</li> <li>バスや電車内のマナーにかかわる苦情はなくなったか。</li> <li>日常生活の中で、積極的に挨拶を行っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の指導は実施した。</li> <li>マナーに関する苦情はあった。</li> <li>生徒会が挨拶運動を実施し、挨拶をする生徒が少しではあるが増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A マナーに関することは学校の教育だけでは難しいため、保護者にも現状を知らせて、家庭でも話をしてもらおう。</li> <li>C 継続的に挨拶運動を実施する。</li> <li>B</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和5年4月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前に補習を実施することにより、すぐに結果に現れ、成功体験につながる。そのことでモチベーションも上がり、中だるみを防ぐ効果が期待できる。</li> <li>・英語に関しては、文理問わず受験で必要になることから、中学時代にせめて英検3級の取得を目指してほしい。そのことで上下の格差も縮めてほしい。</li> <li>・高校受験がない分、3年間を通して様々な体験ができる強みを活かして、稲作、イングリッシュキャンプ、職業体験や福祉体験などは今後も継続して続けてほしい。</li> <li>・生徒の主体性、積極性を伸ばすよう努めてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話によるSNSのトラブルは、入学時における新しい友人関係、環境変化、開放感で起こりやすくなる可能性を秘めている。マナーやルールについては、学校に任せきりにするのではなく、家庭での指導が必要である。生徒対象だけでなく、保護者向けのマナー教室も検討してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校のマナーについては、点字ブロックの上と並んでいる姿なども見かけられるため、引き続きマナー指導を継続していただきたい。マナーアップのさらなる取り組みが必要である。</li> <li>・一人ひとりはある程度きちんとしていても、集団になると、ついマナー違反になっていることと踏まえた指導をするべきである。</li> </ul>